

CODE 080100-052
080100-055
080100-0510

真空採気びん

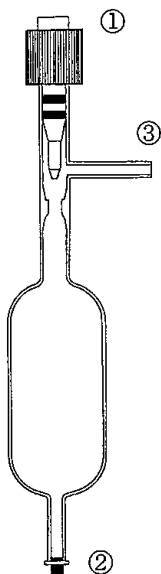
取扱説明書

<仕様>

捕集容量		200mL	500mL	1L
材質	採気びん	ガラス		
	バルブ	PTFE (四フッ化樹脂)		
	注入口	シリコンゴム		
	オーリング	フッ素ゴム (バイトン)		
寸法 (ガラス部)	φ56×約215 mm	φ80×約240 mm	φ95×約290 mm	
質量	約140 g	約250 g	約380 g	
品目コード	080100-052	080100-055	080100-0510	

※ オーリングは試料空気とは接触しません。

<使用方法>



- (1) 試料を捕集する前に真空採気びんの内面を洗浄し、試料空気を混合するのに清浄なガラスビーズ (直径3~5 mm) 等を少量入れておきます。ガラスビーズ (未付属) は、真空びん内の空気の攪拌に用います。
- (2) 真空採気びんの ① のバルブを開き、吸引口 ③ (外径φ10 mm) に真空計及び真空ポンプ (未付属) を接続します。
- (3) 真空ポンプを作動させ、採気びん内を 1.33kPa 以下に減圧した後、バルブ ① を閉じます。
- (4) 測定点に行き、バルブ ① を開き、徐々に吸引し、真空採気びん内が大気圧と等しくなったら、バルブ ① を閉じます。
- (5) 注入口パッキン ② に注射針を差し込み、適量のガスをシリンジにとり、ガスクロマトグラフにかけます。

<使用上の注意>

- (1) 真空採気びんをときどき点検し、漏れの確認をしてください。
- (2) バルブ ① のOリングまたは摺動部にはグリース等はいないでください。
試料がグリース等に吸着し、また試料空気を汚染するおそれがあります。
- (3) 真空採気びんの洗浄には、窒素または清浄空気を2~3回送風して排気し、
分析に影響がないように汚染物を除去します。内面の洗浄に水や洗剤を用い
ると後に影響が現れることがありますので、一般には気体による洗浄が望ま
しいとされます。
- (4) 採取した試料空気は、直射日光や高温を避けて保存し、なるべく早く分析す
ることが必要です。

<付 属 品>

品 名	個 数
注入口パッキン	5 個

10.10.26H (02)

 **柴田科学株式会社**

営業所 東京・大阪・名古屋・福岡・仙台

カスタマーサポートセンター(製品の技術的サポート専用)

 0120-228-766  FAX 048-933-1590

フリーダイヤル

<http://www.sibata.co.jp>